

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 廿日市市公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
佐伯交通有限会社	玖島・友和線	・最近の利用状況を検証した結果、頻繁に利用する人の割合が高く、特定の方が利用しなくなったことによる利用者減少や、新型コロナウイルス感染症の影響により、通院・買い物、娯楽のための外出を控える傾向も続いていることから、目標値を過去3年間の平均値の維持に設定した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B (目標:年間延べ利用者数) 1,264人 (目標1,700人 達成率74.3%) ※目標未達成	・玖島・友和線、所山線ともに新型コロナウイルスの影響もあり、利用者数が減少し目標未達成となったが、引き続き、効果的な利用促進の方法や運用の見直しを検討する。 ・住民代表が参加する会議や、イベント等でデマンドバスをPRすることで、利用者の増加を目指す。
	所山線	・はつかいち桜まつりや住民代表等が参加する会議に参加し、デマンドバスの使い方説明やPRを行い、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C (目標:年間延べ利用者数) 112人 (目標369人 達成率30.3%) ※目標未達成	
	玖島～玖島分れ～友和学校ロータリー(申請番号3)	・最近の利用状況や意見・要望を検証し、ダイヤ改正の検討や地域間幹線である広電バス津田線の利用促進を図ることで、本系統の利用者増に繋がる取組を検討した。 ・はつかいち桜まつりで、PRを行い、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A (目標:収益率) 10.9% (目標10% 達成率109.0%) ※目標達成	・地域間幹線である広電バス津田線の上限運賃制度を継続していくことで利用促進を図る。 ・目標を達成したが、さらにPRを増やし、収益率増加を目指すため、利用促進の方法について検討する。
	玖島～友和学校～佐伯中学校前～さいき文化センター～津田(申請番号4)	・最近の利用状況や意見・要望を検証し、ダイヤ改正の検討や地域間幹線である広電バス津田線の利用促進を図ることで、本系統の利用者増に繋がる取組を検討した。 ・はつかいち桜まつりで、PRを行い、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B (目標:収益率) 9.7% (目標15% 達成率64.6%) ※目標未達成	・地域間幹線である広電バス津田線の上限運賃制度を継続していくことで利用促進を図る。 ・目標を達成していないため、PRの機会を増やし、利用促進の方法について検討する。
有限会社津田交通	浅原線	・最近の利用状況を検証した結果、頻繁に利用する人の割合が高く、特定の方が利用しなくなったことによる利用者減少や、新型コロナウイルス感染症の影響により、通院・買い物、娯楽のための外出を控える傾向も続いていることから、目標値を過去3年間の平均値の維持に設定した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A (目標:年間延べ利用者数) 1,389人 (目標1,349人 達成率102.9%) ※目標達成	・一定の稼働率を維持しているものの、利用者数は全体的に減少傾向にあるため、効果的な利用促進の方法や運用の見直しについて検討する。 ・住民代表が参加する会議や、イベント等でデマンドバスをPRすることで、利用者の増加を目指す。
	飯山・中道線	・はつかいち桜まつりや住民代表等が参加する会議に参加し、デマンドバスの使い方説明やPRを行い、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C (目標:年間延べ利用者数) 180人 (目標365人 達成率49.3%) ※目標未達成	
	津田～吉和間自主運行バス	・最近の利用状況や意見・要望を検証し、ダイヤ改正の検討や地域間幹線である広電バス津田線の利用促進を図ることで、本系統の利用者増に繋がる取組を検討。 ・はつかいち桜まつりで、PRを行い、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C (目標:収益率) 4.4% (目標15% 達成率29.3%) ※目標未達成	・地域間幹線である広電バス津田線の上限運賃制度を継続していくことで利用促進を図る。 ・目標は達成していないが、一定の利用者数があり、効果をあげている。引き続き、PRの機会を増やし、収益率増加を目指す。
NPO法人ほっと吉和	吉和線	・支所等と連携することで、高齢者の介護予防事業や学校行事等の活用が増加している。 ・運行事業者と、利用促進策と運行内容について検討した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A (目標:年間延べ利用者数) 1,519人 (目標1,056人 達成率143.8%) ※目標達成	・事業での活用や、リピーターの確保により、利用者数が増加している。引き続き、PRの機会を増やし、利用者数の増加を目指す。

(参考資料)

路線別利用者数推移と目標達成率(令和4年10月～令和5年9月)

路線名		R4 10月	11月	12月	R5 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	目標達成状況		
														計	目標値	達成率
佐伯 デマンド バス	玖島・友和線	103	104	87	83	71	104	113	100	147	125	104	123	1,264	1,700	74.3%
	所山線	9	15	12	8	8	8	7	5	11	10	7	12	112	369	30.3%
	浅原線	158	153	114	92	111	123	116	108	91	94	118	111	1,389	1,349	102.9%
	飯山・中道線	12	18	16	11	16	22	9	20	14	12	12	18	180	365	49.3%
吉和デマンドカー(ほっと吉和)		103	100	76	63	84	102	67	114	171	330	119	190	1,519	1,056	143.8%

【参考】(令和3年10月～令和4年9月)

路線名		R4 10月	11月	12月	R4 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	目標達成状況		
														計	目標値	達成率
佐伯 デマンド バス	玖島・友和線	99	77	94	62	81	83	64	94	90	102	83	130	1,059	1,836	57.6%
	所山線	10	17	4	1	3	10	9	9	11	14	12	7	107	560	19.1%
	浅原線	135	89	114	94	82	105	128	114	124	106	111	109	1,311	1,686	77.7%
	飯山・中道線	27	21	29	23	24	21	19	10	11	16	17	12	230	615	37.3%
吉和デマンドカー(ほっと吉和)		66	65	66	32	75	100	79	86	72	158	63	66	928	1,980	46.8%

系統別収支と目標達成率(令和4年10月～令和5年3月)

系統名		R5年度経常収益	R5年度経常費用	目標達成状況		
				収益率	目標収益率	達成率
佐伯交通(有)	玖島～玖島分れ～友和学校ロータリー(申請番号3)	26,332	239,922	10.9%	10%	109.0%
	玖島～友和学校～佐伯中学校前～さいき文化センター～津田(申請番号4)	358,647	3,691,910	9.7%	15%	64.6%
(有)津田交通	津田～吉和間自主運行バス	652,446	14,659,648	4.4%	15%	29.3%

系統別利用者数(令和4年10月～令和5年3月)

系統名		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
佐伯交通(有)	玖島～玖島分れ～友和学校ロータリー(申請番号3)	29	56	29	26	32	33							205
	玖島～友和学校～佐伯中学校前～さいき文化センター～津田(申請番号4)	690	664	615	576	631	531							3,707
	〈再編後〉玖島線の乗降者数(上記2系統以外の系統含む)	114	115	84	85	108	94							600
(有)津田交通	津田～吉和間自主運行バス	747	627	772	1,051	1,354	865							5,416

【参考】系統別収支と目標達成率(令和3年10月～令和4年9月)

系統名		R4年度経常収益	R4年度経常費用	目標達成状況		
				収益率	目標収益率	達成率
佐伯交通(有)	玖島～玖島分れ～友和学校ロータリー(申請番号3)	33,528	517,675	6.4%	10%	64.0%
	玖島～友和学校～佐伯中学校前～さいき文化センター～津田(申請番号4)	879,752	6,096,970	14.4%	15%	96.0%
(有)津田交通	津田～吉和間自主運行バス	1,067,982	31,619,927	3.3%	15%	22.0%

【参考】系統別利用者数(令和3年10月～令和4年9月)

系統名		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
佐伯交通(有)	玖島～玖島分れ～友和学校ロータリー(申請番号3)	6	13	15	25	24	21	39	38	38	27	19	19	284
	玖島～友和学校～佐伯中学校前～さいき文化センター～津田(申請番号4)	695	685	664	666	689	637	628	835	818	608	382	717	8,024
	〈再編後〉玖島線の乗降者数(上記2系統以外の系統含む)	122	135	116	142	114	110	93	81	117	71	39	106	1,246
(有)津田交通	津田～吉和間自主運行バス	635	671	825	981	1,029	879	538	599	654	541	510	510	8,372

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

協議会名：	廿日市市公共交通協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	廿日市市は広島県の西部に位置しており、平成15年と平成17年の2度の合併により、南は瀬戸内海に浮かぶ宮島から北は中国山地に位置する吉和までを市域とする広域な市となった。 そうしたなか、急速な少子高齢化の進展や人口減少、マイカー利用を前提とした生活スタイルの定着等により、都市部での公共交通の利用は減少傾向にあり、その維持存続が困難な状況が発生している。一方で、中山間部、島しょ部では高齢化が進み、マイカーを自由に利用できない高齢者、通学者等を中心に、公共交通の必要性は高まりつつあり、持続可能な移動手段を確保・維持することが不可欠である。 また、地域住民の生活圏は地域内に留まらず、通勤・通学・通院等で廿日市市街方面まで及ぶことから、交通結節点において廿日市市街への移動を担う幹線と有機的に結びつける必要がある。